

1面のコラム「<sup>しゃめん</sup>斜面」を読もう

斜面

2021.9.1

小学生の女の子がこう語る。「タブレットがないと自分の頭で全部考えないといけない。でもこれがあれば問題を

を間違えた時、すぐ説明があつて前に進める」。文部科学省が促進する「1人1台端末環境」のプロモーション動画である◆全小中学校にタブレット端末などを配する「GIGAスクール構想」を進めるには、あつらえ向きのインタビュウだろう。一人一人の子どもに合わせ効率的に教えられる。きょう発足するデジタル庁も、前面に押し立てたいセールスポイントに違いない◆デジタル教育は利点ばかりではあるまい。タブレットに示される道筋を追うだけでは「自分の頭で深く考える」習慣が身に付くように思えない。迷路に入り込み、手探りで出口を探す体験も大切だろう。両輪となる情報モラル教育が進まないまま性急に導入すれば弊害も出てくる◆スウェーデンの精神科医アンデシュ・ハンセンさんは著書「スマホ脳」でこんな実験を紹介している。ある短編小説を小学校高学年の半数に本で読ませ、半数にはタブレット端末で読ませる。本で読んだ子どものほうが内容を順序立ててよく覚えていた◆情報を読み取って記憶し、体験と融合させて「知識」を構築する。大きなエネルギーを使う脳の営みだ。知識は社会とつながり批判的な問い掛けをするために欠かせないとハンセンさんは説く。自ら考えて主体的に行動する市民を育てる。それが教育の眼目であることを忘れてはならない。

斜面

2021.9.2

太平洋戦争はいつ終わったか。1945年8月15日と即答する人が多いだろう。国民が天皇からポツダム宣言の

受諾を聞いた日。正式な降伏文書の調印は9月2日だった。世界では、きょうやあすを戦勝の記念日とした国が少なくない◆事実、8月15日以降も戦闘は続いた。ソ連の侵攻で樺太や千島列島では多くの命が失われている。戦争がいつどんな形で終わったかは場所や立場で異なる。極端な例はブラジルに移民した30万人の人々だ。多くが敗戦を認めず、戦勝を長く疑わなかった◆当初、ラジオ放送がよく聞こえずに情報が錯綜<sup>さくそう</sup>。敗戦を受け止めた少数の「マケ組」と勝利を妄信する多数の「カチ組」が対立した。敗戦の情報は陰謀やデマだと決めつけたカチ組は、「英国は既に降伏」「サンフランシスコに上陸」などとフェイクニュースを同胞に流し続けた◆マケ組を狙う暗殺組織まで生まれ、46年3月から翌年1月までに23人が殺された。狂信的な言動はブラジル市民の怒りも買い、争いの鎮圧に軍隊まで出動した。事件に絡み大勢の逮捕者を出したカチ組は弱体化してゆくが、抗争の終結に10年余を要した◆混乱を克明に追った太田恒夫氏の著書に詳しい。客観的な事実を正視せず、内向きな思考にとどまり続ける危うさを教えている。「8月15日」は戦没者の慰霊にふさわしいかもしれぬ。同時に「9月2日の敗戦」も深く記憶に刻み直すべき事実だ。内向きな歴史観を振り回さないためにも。

1面のコラム「<sup>しゃめん</sup>斜面」を読もう

ひらがなを漢字になおして書きましょう。

斜面

2021. 9. 2

たいへいようせん  
 そうはいつおわっ  
 たか。1945ね  
 ん8がつ15にちと  
 そくとうするひとがおおい  
 だろう。こくみんがてんの  
 うからポツダムせんげんの  
 じゅだくをきいたひ。せい  
 しきなこうふくぶんしよの  
 ちよういんは9がつ2かだっ  
 た。せかいでは、きょうや  
 あすをせんしよのきねん  
 びとしたくにながすくなくな  
 い◆じじつ、8がつ15にち  
 いこうもせんとうはつづい  
 た。ソ連のしんこうで樺太  
 や千島れっとうではおおく  
 のいのちがうしなわれてい  
 る。せんそうがいつどんな  
 かたちでおわったかはばしよ  
 やたちばでことなる。きよ  
 くだんなれいはブラジルに  
 いみんした30まんにんのひ  
 とびとだ。おおくがはいせ  
 んをみとめず、せんしよ  
 をながくうたがわなかった  
 ◆とうしよ、ラジオほうそ  
 うがよくきこえずにじよ  
 ほうが錯綜さくそう。はいせんをう  
 けとめたしよすうの「マ  
 ケぐみ」としよりをもう  
 しんするたすうの「カチぐ  
 み」がたいりつした。はい  
 せんのじよほうはいんぼ

うやデマだときめつけたカ  
 チぐみは、「英国はすでに  
 こうふく」「サンフランシ  
 スコにじようりく」などと  
 フェイクニュースをどうほ  
 うにながしつづけた◆マケ  
 ぐみをねらうあんさつそし  
 きまでうまれ、46ねん3が  
 つからよくねん1がつまで  
 に23にんがころされた。きよ  
 うしんてきなげんどうはブ  
 ラジルしみのいかりもか  
 い、あらそいのちんあつに  
 ぐんたいまでしゅつどうし  
 た。じけんにからみおおぜ  
 いのたいほしやをだしたカ  
 チぐみはじゃくたいかして  
 ゆくが、こうそうのしゅ  
 けつに10ねんよをようした  
 ◆こんらんをこくめいにおっ  
 た太田恒夫氏のちよしよに  
 くわしい。きゃっかんてき  
 なじじつをせいしせず、う  
 ちおきなしこうにとどまり  
 つづけるあやうさをおしえ  
 ている。「8がつ15にち」  
 はせんぼつしやのいれいに  
 ふさわしいかもしれぬ。ど  
 うじに「9がつ2かのはい  
 せん」もふかくきおくにき  
 ぎみなおすべきじじつだ。  
 うちおきなれきしかんをふ  
 りまわさないためにも。



コラム「<sup>しゃめん</sup>斜面」を読んで考えを深めよう

解答例

年 組 名前

斜面

2021.9.1

小学生の女の子がこう語る。「タブレットがないと自分の頭で全部考えないといけない。でもこれがあれば問題

を間違えた時、すぐ説明があつて前に進める」。文部科学省が促進する「1人1台端末環境」のプロモーション動画である◆全小中学校にタブレット端末などを配する「GIGAスクール構想」を進めるには、あつらえ向きのインタビュウだろう。一人一人の子どもに合わせ効率的に教えられる。きょう発足するデジタル庁も、前面に押し立てたいセールスポイントに違いない◆デジタル教育は利点ばかりではあるまい。タブレットに示される道筋を追うだけでは「自分の頭で深く考える」習慣が身に付くように思えない。迷路に入り込み、手探りで出口を探す体験も大切だろう。両輪となる情報モラル教育が進まないまま性急に導入すれば弊害も出てくる◆スウェーデンの精神科医アンデシュ・ハンセンさんは著書「スマホ脳」でこんな実験を紹介している。ある短編小説を小学校高学年の半数に本で読ませ、半数にはタブレット端末で読ませる。本で読んだ子どものほうが内容を順序立ててよく覚えていた◆情報を読み取って記憶し、体験と融合させて「知識」を構築する。大きなエネルギーを使う脳の営みだ。知識は社会とつながり批判的な問い掛けをするために欠かせないとハンセンさんは説く。自ら考えて主体的に行動する市民を育てる。それが教育の眼目であることを忘れてはならない。

①文部科学省のプロモーション動画で、小学生の女の子は、タブレットがある時とない時の様子について何と話していますか。

【解答】タブレットがないと自分の頭で全部考えないといけない。でもこれがあれば問題を間違えた時、すぐ説明があつて前に進める

②筆者は、どんなことが「教育の眼目である」と考えていますか。

【解答】自ら考えて主体的に行動する市民を育てること

③筆者の考えに対して、あなたはどのように考えますか。2000字程度で書きましょう。

Grid for writing the answer to question 3.

## 1面のコラム「斜面」を読もう

### 斜面

2021.9.1

小学生の女の子がこう語る。「タブレットがないと自分の頭で全部考えないといけない。でもこれがあれば問題

を間違えた時、すぐ説明があつて前に進める」。文部科学省が促進する「1人1台端末環境」のプロモーション動画である◆全小中学校にタブレット端末などを配する「GIGAスクール構想」を進めるには、あつらえ向きのインタビュウだろう。一人一人の子どもに合わせ効率的に教えられる。きょう発足するデジタル庁も、前面に押し立てたいセールスポイントに違いない◆デジタル教育は利点ばかりではあるまい。タブレットに示される道筋を追うだけでは「自分の頭で深く考える」習慣が身に付くように思えない。迷路に入り込み、手探りで出口を探す体験も大切だろう。両輪となる情報モラル教育が進まないまま性急に導入すれば弊害も出てくる◆スウェーデンの精神科医アンデシュ・ハンセンさんは著書「スマホ脳」でこんな実験を紹介している。ある短編小説を小学校高学年の半数に本で読ませ、半数にはタブレット端末で読ませる。本で読んだ子どものほうが内容を順序立ててよく覚えていた◆情報を読み取って記憶し、体験と融合させて「知識」を構築する。大きなエネルギーを使う脳の営みだ。知識は社会とつながり批判的な問い掛けをするために欠かせないとハンセンさんは説く。自ら考えて主体的に行動する市民を育てる。それが教育の眼目であることを忘れてはならない。

### 斜面

2021.9.2

太平洋戦争はいつ終わったか。1945年8月15日と即答する人が多いだろう。国民が天皇からポツダム宣言の

受諾を聞いた日。正式な降伏文書の調印は9月2日だった。世界では、きょうやあすを戦勝の記念日とした国が少なくない◆事実、8月15日以降も戦闘は続いた。ソ連の侵攻で樺太や千島列島では多くの命が失われている。戦争がいつどんな形で終わったかは場所や立場で異なる。極端な例はブラジルに移民した30万人の人々だ。多くが敗戦を認めず、戦勝を長く疑わなかった◆当初、ラジオ放送がよく聞こえずに情報が錯綜さくそう。敗戦を受け止めた少数の「マケ組」と勝利を妄信する多数の「カチ組」が対立した。敗戦の情報は陰謀やデマだと決めつけたカチ組は、「英国は既に降伏」「サンフランシスコに上陸」などとフェイクニュースを同胞に流し続けた◆マケ組を狙う暗殺組織まで生まれ、46年3月から翌年1月までに23人が殺された。狂信的な言動はブラジル市民の怒りも買い、争いの鎮圧に軍隊まで出動した。事件に絡み大勢の逮捕者を出したカチ組は弱体化してゆくが、抗争の終結に10年余を要した◆混乱を克明に追った太田恒夫氏の著書に詳しい。客観的な事実を正視せず、内向きな思考にとどまり続ける危うさを教えている。「8月15日」は戦没者の慰霊にふさわしいかもしれぬ。同時に「9月2日の敗戦」も深く記憶に刻み直すべき事実だ。内向きな歴史観を振り回さないためにも。

## 1面のコラム「斜面」を読もう

ひらがなを漢字になおして書きましょう。

### 斜面

2021. 9. 2

たいへいようせん  
そうはいつおわっ  
たか。1945ね  
ん8がつ15にちと  
そくとうするひとがおおい  
だろう。こくみんがてんの  
うからポツダムせんげんの  
じゅだくをきいたひ。せい  
しきなこうふくぶんしよの  
ちよういんは9がつ2かだっ  
た。せかいでは、きょうや  
あすをせんしよのきねん  
びとしたくにながすくなくな  
い◆じじつ、8がつ15にち  
いこうもせんとうはつづい  
た。ソ連のしんこうで樺太  
や千島れっとうではおおく  
のいのちがうしなわれてい  
る。せんそうがいつどんな  
かたちでおわったかはばしよ  
やたちばでことなる。きよ  
くたんなれいはブラジルに  
いみんした30まんにんのひ  
とびとだ。おおくがはいせ  
んをみとめず、せんしよ  
をながくうたがわなかつた  
◆とうしよ、ラジオほうそ  
うがよくきこえずにじよ  
うが錯綜さくそう。はいせんをう  
けとめたしよすうの「マ  
ケぐみ」としよりをもう  
しんするたすうの「カチぐ  
み」がたいりつした。はい  
せんのじよほうはいんぼ

うやデマだときめつけたカ  
チぐみは、「英国はすでに  
こうふく」「サンフランシ  
スコにじようりく」などと  
フェイクニュースをどうほ  
うにながしつづけた◆マケ  
ぐみをねらうあんさつそし  
きまでうまれ、46ねん3が  
つからよくねん1がつまで  
に23にんがころされた。きよ  
うしんてきなげんどうはブ  
ラジルしみのいかりもか  
い、あらそいのちんあつに  
ぐんたいまでしゅつどうし  
た。じけんにからみおおぜ  
いのたいほしやをだしたカ  
チぐみはじゃくたいかして  
ゆくが、こうそうのしゅ  
けつに10ねんよをようした  
◆こんらんをこくめいにおっ  
た太田恒夫氏のちよしよに  
くわしい。きゃっかんてき  
なじじつをせいしせず、う  
ちおきなしこうにとどまり  
つづけるあやうさをおしえ  
ている。「8がつ15にち」  
はせんぼつしやのいれいに  
ふさわしいかもしれぬ。ど  
うじに「9がつ2かのはい  
せん」もふかくきおくにき  
ぎみなおすべきじじつだ。  
うちおきなれきしかんをふ  
りまわさないためにも。

固有名詞などの漢字は原文のままです。

### コラム「斜面」を読んで考えを深めよう

## 斜面

2021.9.1

小学生の女の子がこう語る。「タブレットがないと自分の頭で全部考えないといけない。でもこれがあれば問題

を間違えた時、すぐ説明があつて前に進める」。文部科学省が促進する「1人1台端末環境」のプロモーション動画である◆全小中学校にタブレット端末などを配する「GIGAスクール構想」を進めるには、あつらえ向きのインタビュウだろう。一人一人の子どもに合わせ効率的に教えられる。きょう発足するデジタル庁も、前面に押し立てたいセールスポイントに違いない◆デジタル教育は利点ばかりではあるまい。タブレットに示される道筋を追うだけでは「自分の頭で深く考える」習慣が身に付くように思えない。迷路に入り込み、手探りで出口を探す体験も大切だろう。両輪となる情報モラル教育が進まないまま性急に導入すれば弊害も出てくる◆スウェーデンの精神科医アンデシュ・ハンセンさんは著書「スマホ脳」でこんな実験を紹介している。ある短編小説を小学校高学年の半数に本で読ませ、半数にはタブレット端末で読ませる。本で読んだ子どものほうが内容を順序立ててよく覚えていた◆情報を読み取って記憶し、体験と融合させて「知識」を構築する。大きなエネルギーを使う脳の営みだ。知識は社会とつながり批判的な問い掛けをするために欠かせないとハンセンさんは説く。自ら考えて主体的に行動する市民を育てる。それが教育の眼目であることを忘れてはならない。

① コラム「斜面」を読んで、筆者が言いたいことを簡潔に書きましよう。

② 【意見提示】 「斜面」の内容に対するあなたの意見を書きましよう。

③ 【展開】 あなたの意見の根拠を三つ書きましよう。

Three large dashed boxes for student responses.

( ) ( ) ( )

伝えたい順番